

3月にお届けする材料を使用したレシピです

JA ふれあい食材
おすすめ
レシピ

豚しゃぶのにらソースがけ



材 料

・国産豚ロースしゃぶしゃぶ用	150g	「おろししょうが」	1/2片
・にら	50g	「おろしにんにく」	1/2片
・キャベツ	100g	しょう油	大さじ2
・人参	30g	酢	大さじ2
		砂糖	大さじ1
		白炒りごま	大さじ1
		ごま油	大さじ1

作り方

- ①にらはみじん切りにして A と合わせ、15 分程置く。
- ②豚肉は解凍し、沸騰したお湯に分量外の酒を加え、さっと茹でて水気をきる。
- ③キャベツと人参はせん切りにして水をはったボウルに放ち、ザルに上げる。
- ④器に②と③を盛り、①をかける。

- 材料は 1 人分が基準になっております。
 - 盛付例はイメージです。
- ※材料の野菜がない場合は家庭にある好きな野菜をお使い下さい。



東北地方の長期予報



<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。東北太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率 70%です。降水量は、東北日本海側で少ない確率 50%です。日照時間は、東北日本海側で平年並または多い確率ともに 40%です。東北日本海側の降雪量は、少ない確率 70%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率 70%です。2週目は、高い確率 70%です。3～4週目は、高い確率 50%です。

<気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

2月23日～3月22日

【気 温】東北地方	10	20	70
【降 水 量】東北日本海側	50	30	20
【降 水 量】東北太平洋側	30	30	40
【日照時間】東北日本海側	20	40	40
【日照時間】東北太平洋側	40	30	30
【降 雪 量】東北日本海側	70	20	10

<気温経過の各階級の確率(%)>

2月23日～3月1日

2月23日～3月1日	10	20	70
3月2日～3月8日	10	20	70
3月9日～3月22日	20	30	50

凡例： 低い (少ない) 平年並 高い (多い)
(仙台管区気象台 発表)

編集後記

3月です。この季節になると鼻がむずむず・・・!という方も多いのではないのでしょうか。特に今年は花粉の量も多いようですね。暖かさはもちろん、この花粉症の辛さも「春」を感じさせます。

福島市の吾妻小富士に現れる「種まきうさぎ」も「春」の風物詩です。吾妻小富士に積もった雪が徐々に溶けていき、その形がうさぎに見える頃合いに、昔は種まきを始めたことからそう呼ばれるそうです。今年は暖冬の影響で雪が少なく、すでにうさぎが姿を現し、春の訪れを例年より早く実感することとなりました。

さて、春が早まり、暖かい季節となるのは嬉しい反面、今後の農作物への影響が心配です。これからの旬といえばアスパラガス!春野菜、その後には続く夏野菜や果物が、どうか順調な生育となっていくように…。

今月の主な行事予定

3月2日	管理部	JA全農杯全国選抜小学生サッカー大会 (～3日)
3月8日	生産資材部	春の中古農機展示会
3月24日	管理部	福島ユナイテッドFCホームゲーム



ラジオ福島

「農家の皆さんへ」

午前5時15分～25分
放・送・予・定

3月4日	燃料部	免税軽油について
3月5日	畜産部	営農相談室
3月11日	燃料部	安全化システムについて
3月12日	生産資材部	営農相談室
3月18日	畜産部	肉豚の飼養管理について
3月25日	米穀部	31年産米の取扱方針について



あなたのうちの住宅用火災警報器は正常に動作していますか？

取替えるなら、ご家族の安全と早期発見・早期消化のために

ワイヤレス連動型 をおすすめします!



住警器が設置してあっても適切に作動しなかった火災 全国で607件
※総務省消防庁 2011年～2015年 5年間
中にはケガや命を落とす事故につながるケースも発生しています。

「声」だから
わかりやすい!
家庭内のさまざまなお知らせ音と聞き間違えないように、「声」でハッキリと知らせます。

自動試験機能で
セルフチェック
検知部の作動状態を約1時間に1回、自動的に試験。異常があれば音と光でお知らせ。

「警報音」が
聞き取りやすい
高齢の方やお子様にも聞き取りやすい、幅広い周波数帯を採用しています。



こんなタイプのものをご使用ではありませんか?
住宅用火災警報器は古くなると電子部品の寿命などにより、火災を検知しない恐れがあります。
(一社)日本火災報知機工業会より

電池交換時期も声でお知らせ

声+警報音でハッキリお知らせ

家族の笑顔、家族の命、財産、火事は全てを奪います。

お問合せはお近くのJAまで!

※火元で検知してから約0.5秒～10秒で、他の部屋の警報機と連動して一斉にお知らせします。周囲の環境によっては20秒程度かかる場合があります。

福島県の火災警報器設置率…74.6%
全国各県と比べると…ワースト5位
全国平均の81.6%を7%も下回っています。
※2018年9月28日「福島民友」掲載

Farming Information

今月の営農情報

営農企画部

GAPと各種分析信頼性の確保

農業技術センター 技術常任参与 荒川市郎

県内各地でGAPの取得・実践に関する取り組みが広がっています。GAPは持続可能な農業の基礎として、信頼される農場運営のため日々の農場管理という仕事のなかで、実施すべき内容(管理基準)を定めたものです。このなかで土壌診断や水質の分析、残留農薬の分析などいくつかの項目について、化学分析などのデータに基づいた対応が求められています。

土壌診断では、JGAPの「肥料の選択と計画」の項目で、「適切な施肥設計」にあたって、土壌分析が求められています。また、「水の利用及び廃水管理」では、「農産物取扱い工程で使用する水の安全性」のなかで、農場において使用する水の検査が必須となっています。

このほか、生産物の残留農薬分析なども求められています。これらの分析・検査は、専門の分析機関に依頼することになります。

《農業技術センターの分析業務》

農業技術センターは、計量法に基づく計量証明事業(濃度)として登録しており、JGAP対応の土壌分析が出来ます。このため、計量管理



分析室での土壌ミネラル測定

者を配置し、使用する分析機器、分析方法、標準物質の取り扱いなどを細かく定め、分析精度の管理に努めています。また、土壌分析の結果を計量証明書として発行することが出来ます。

また、毎年全国各地同様の分析をしている機関や大学と連携し、同一サンプルを分析し、その結果を持ち寄り比較することで、お互いの分析精度の確認や分析技術の向上に努めています。

これらの分析について不明の点がありましたら、ぜひご相談ください。